

# みやぎGPN活動報告 0119

## 今回の内容

## 2023年度グリーン購入セミナー in みやぎ 社会実装～イノベーションが創る持続可能な社会～



みやぎグリーン購入ネットワークでは、グリーン購入の普及・啓発と共に持続可能な社会について学びあうセミナーを年に一度開催しています。

今年度は、様々な分野から研究やイノベーションが社会に実装されている事例をお話いただき、会場及びオンライン併用のハイブリッドで実施。自治体、企業、団体含め29名の参加となりました。

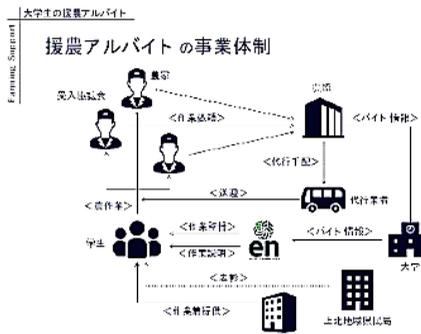
日時 2024年1月19日10時～12時

場所 仙台市市民活動サポートセンター6階 セミナーホール ハイブリッド

### 講演①岩手大学教育学部 准教授 庄子 元氏

「大学生と目指す持続可能な農業：青森県での地理学的な社会実装」

観察が主となる地理学という学問が地域に直接貢献していく為にできることは何か？日本の農業経営から見たときの課題を労働力という視点で分析し、その結果を元に、前任地青森の農業の特徴を人文地理という立場から学生たちと研究し、学生を中心に援農サークルという形で地域を巻き込み農業の支援をしていく取組とその成果が紹介されました。



### 講演②東北大学大学院環境科学研究科 教授 高橋 弘氏

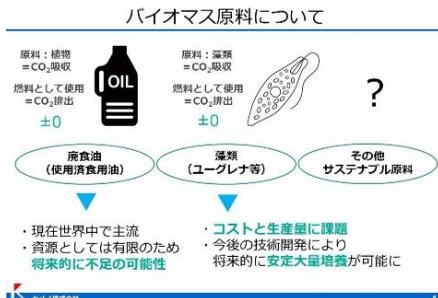
「繊維質固化処理土工法(ボンテラン工法)から、東日本大震災津波堆積物の再資源化としての実装」

ボンテラン工法とは泥土(ヘドロ)にボンファイバー(古紙破砕物)と固化材を添加・混合することにより、取扱い性の向上(ハンドリング)・高耐久性および地震対策等の機能を付加して、これらを積極的に地盤材料に再資源化する工法です。まず最初に繊維質固化処理土工法についてその概要について、詳しい説明があり、続いて産学官連携の経緯と中越地震での実績が報告されました。中越地震の実績がきっかけとなり東日本大震災では津波堆積物の再資源化に取組、その実績がスライドを使用し紹介されました。



### 講演③カメイ株式会社 法人営業部 木村伸也 氏

「次世代バイオディーゼル燃料～実装にむけた流通販売について～」



### 精製方法によるバイオディーゼルの違い

	分子構造	品質	特徴
バイオディーゼル (FAME)	FAME (脂肪酸メチルエステル)	国内B5規格に準拠 ※市販軽油との割合 一部禁止上5%まで	ディーゼル燃料と似た特徴をもち、100%含有での使用は実用には適さない
次世代バイオディーゼル (HVO)	市販軽油と同じ炭化水素	国内軽油規格に合致 JIS/品種法上『軽油』	石油と同等の性質まで精製されているため、100%まで混合割合を高めることができる

既存インフラのまま脱炭素が可能

石油販売業から昨年創業120年を迎えた総合商社カメイ(株)様より、流通販売という立場から、ミドリムシの研究開発を行っているユーグレナ社と提携し2023年2月に供給を開始・販売しているバイオディーゼル燃料「サステオ20」についてお話しいただきました。

現在バイオディーゼル燃料は、脱炭素燃料という視点から車・航空機・トラック・建設機械・船舶等幅広い分野で利用され始めているようです。表で示されるように廃食由来のFAMEと精製燃料HVOについて製造過程の違い、またメリットデメリットについてお話がありました。小瓶に分けられた軽油・FAME・サステオ20が配られ来場者が匂いをかぎ分けながらサステオ20について詳しい説明がありました。東北唯一の製造拠点を持つ企業として燃費、税法上の問題をクリアしながらも、製造コストの問題や需給環境変化への対応など実装段階での課題に対し流通販売を担う企業の責任を強く感じた講演でした。最後に脱炭素先行地域に指定された仙台市と連携し定禅寺通りで使用する発電機にサステオ20を使用する取組の紹介もあり、カーボンゼロに向けた今後の動きに期待したい。